

職能要件書 職能評価シート

職種	薬剤師
専門部署	薬局

部署	
氏名	
現状把握時の等級	
仮格付け時の等級 (給与レベルにあつた当初の等級)	
第1回評価時の等級	
第2回評価時の等級	

完全にできている	0	←半角数字の「0」(ゼロ)を入力
まだ不十分	*	←半角の「*」(アスタリスク)を入力

0が90%以上あれば、この等級は完全クリアーしている。

【入力手順】

- 1.今年度の等級を左枠で確認し、該当等級までの項目を全てチェックして下さい
(該当しない項目はその行を削除してください)
- 2.「等級」は「独力対応等級」の欄に記載してあります
- 3.「0」又は「*」を入力 (0×は入力が大変な為、この記号を使用します)
※次年度は「*」の付いている項目のみチェック
但し、等級が上がる方は、上の等級もチェックが必要です。

単位業務 (大まかな区分)	作業名	作業内容 (～して～ができる)	独力 等級 対応	現 状 の 状 為 し の ベ ル 評 価	第1回 評価 ()	第2回 評価 ()	
調剤	調剤管理	1 処方内容の薬学的評価ができる	2				
		2 処方変更の提言ができる	2				
		3 麻薬の調剤ができる	2				
		4 処方された薬剤の適応症、用法、用量、禁忌、併用注意、配合変化等を理解し、更にカルテなどにより、患者の病態を把握しながら調剤(粉碎化・分包化)ができる	2				
	調剤監査	1 処方内容のDrへの疑義紹介ができる	2				
		2 麻薬処方箋の鑑査ができる	2				
		3 処方箋に従い、正しく調剤(調剤内容、適応症、用法、用量、禁忌、併用注意、配合変化、患者の病態等)されているか適時確認する事ができる	2				
		4 麻薬処方箋の鑑査ができる	2				
	薬剤交付	1 調剤薬の交付と説明が丁寧に、患者の質問にも的確に答えながら、更に患者の主訴を理解しながら、アドバイスする事ができる	2				
		2 他院を含め、現在服用中の薬剤(医薬品、サブリ等)を確認(併用禁忌、注意)し、用法、用量、薬効、副作用の説明ができる	2				
	服薬指導	服薬指導	1 患者情報の収集ができる	2			
			2 服薬指導ができる	2			
3 POS方式及びフォーカスチャータリングによる記録がとれる			2				
4 患者情報の担当医への報告ができる			2				
5 複数疾患を理解し服薬指導ができる			2				
薬品管理	血液製剤の管理	1 血液製剤の適正使用のレベルを把握し、使用方法、使用目的など必要な情報をDrへ具申できる	2				
		2 血液製剤払い出しマニュアルの改定案を上司に具申できる	2				
	ワクチン・向精神薬・毒薬の情報提供	1 ワクチンの摂取年齢、摂取時期、摂取方法などの情報を患者、Ns、Drへ情報提供できる	2				
		2 毒薬・向精神薬払い出しマニュアルの改定案を上司に具申できる	2				
	出庫先管理	1 出庫先の保管状態の監査ができる	2				
		2 使用状況の把握ができ、改善等の提案ができる	2				
3 適正な在庫品目、在庫数量の提言ができる		2					
注射薬調剤	注射処方箋のチェック	1 処方箋・ラベルの出力が出きる	2				
		2 病棟ごとの集計ができ、分析に活かせるデータを出せる	2				
		3 用法・容量のチェックができる	2				
		4 出力された注射処方箋の投与経路、配合変化、薬物相互作用を確認し、問題があればDrへ質問確認ができる	2				
		5 抗がん剤・特定抗菌剤などの帳票記載の必要がある薬剤は、マニュアルに沿って必要な事項を入力できる	2				
	注射薬個人セットの作成	1 集計表のチェックができる	2				
		2 患者用レベルのセットができる	2				
		3 患者、看護師が見やすいように注射薬の個人別セットができる	2				
		4 毒薬・血液製剤、麻薬、の調剤ができ、払出等の記録記帳もできる	2				
	注射調剤鑑査	1 セットされた注射薬が注射処方に沿って正確にセットされているか注射薬個人セットの鑑査(処方内容、プロトコール等の確認)ができる	2				
		2 病棟への注射薬個人セットの払出ができる	2				

単位業務 (大まかな区分)	作業名	作業内容 (～して～ができる)	独 等 級 対 応	現 状 の 為 し の ベ ル 価 把	第1回 評価 ()	第2回 評価 ()
医薬品情報	医薬品情報の提供	1 患者対象の処方内容に関する医薬情報の編集 発行が行える	2			
		2 職員対象情報誌の編集、編纂、発行が行える(DIニュース)	2			
		3 緊急、または重要情報の提供が出来る	2			
毒劇物管理	劇物管理①	1 ルールに沿って劇物を受け取る事ができる(工業用アルコールを受領する際は、受取印を押印する)	2			
製剤	一般乾式製剤	1 約束処方、予製薬の調整ができる	2			
		2 在庫、品質、使用状況の管理ができる	2			
2等級職員の等級判定(○の個数)			個数	0	0	0
2等級職員の○取得率			39	0%	0%	0%